

## 外務官僚が目指すべきは、国連改革だろう？

国連で敵国扱いされながら、多額の拠出金に応じてきた外務省は、腑抜けの集団、国辱の最たる役所だ。今こそ国連改革のチャンスではないか？

アフガニスタン、ミャンマーなど、現地職員を置き去りにして、大使を先頭に邦人だけ逃げだした。卑怯、臆病者の集団だ。

世界の笑いものだ！私は、パキスタンでも、ウクライナでも笑われたよ。

ミャンマーでは、軍部とも信頼関係にあるとの評判の某大使が有名だった。

この大使、今では話題にもならない。何処に雲隠れしている？

在日ミャンマーの人々が、民主化のため近々デモをするそうだが、私は先頭で参加したい。外務官僚、少しでも人間性が有るなら、有志を募りデモに参加したらどうだ！

それも出来ないなら、国民恥辱の象徴、本省の日の丸を下ろしてくれ！

2022年8月26日

小田兼利